

会 議 録

会議の名称	第5回JR行田駅前広場周辺再整備基本計画検討委員会
開催日時	平成27年3月17日(火) 開会：14時00分 ・ 閉会：16時00分
開催場所	行田市産業文化会館2階 2A会議室
出席者(委員) 氏名	田尻 要、酒井建二、柳澤 守、酒井敦司、清水直人 伊東絵里子、富岡 誠
欠席者(委員) 氏名	小川雅以、櫛引浩士
事務局等	石川都市計画課長、加藤主幹、金子主査、馬場主査、青山主任 大日本コンサルタント(株)：古谷、木下
会議内容	(1) JR行田駅前広場周辺再整備基本計画(案)について
会議資料	(資料名・概要等) ・ 次第 ・ JR行田駅前広場周辺再整備基本計画(案) ・ 資料-1 パブリックコメント対応(案)
その他必要 事項	傍聴者1名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
田尻委員長	<p>開会の宣言（金子主査）</p> <p>委員長あいさつ</p> <p>（議事）</p> <p>議事(1)「J R 行田駅前広場周辺再整備基本計画（案）について」事務局からの説明を求める。</p>
事務局	<p>（資料に基づきパブリックコメント対応（案）及びJ R 行田駅前広場周辺再整備基本計画（案）について説明）</p>
田尻委員長	<p>事務局からの説明について、意見はあるか。</p>
酒井(建)委員	<p>パブリックコメントへの対応は外部に提示するのか。</p>
事務局（青山主任）	<p>現在はまだ公表しておらず、今後ホームページで公開する予定である。</p>
酒井(建)委員	<p>今後、人口増加を図っていく中では、住宅地の整備、または現在の土地利用について高度利用を図るものであるが、誘導として具体的にどのような手法を取るのか。基本計画書としては具体的に書く必要はないが、今後の検討事項として明記しておいた方が良いのではないか。</p>
事務局（加藤主幹）	<p>計画書の中に盛り込めるよう、対応していきたい。</p>
柳澤委員	<p>複合施設の中に行政施設や観光施設など、全ての機能がEの位置に集約されるイメージか。62頁の表には観光案内所が残っている。</p>
事務局（加藤主幹）	<p>62頁はイメージであり、Eの複合施設の中に全ての機能を集約する予定である。現在の観光案内所の取り扱いについては、取り壊しも含めて今後検討を行う。</p>
事務局（青山主任）	<p>観光案内所については、休憩スペースとして活用するなど、他目的で利用する可能性も含めて今後検討する予定である。</p>
事務局（金子主査）	<p>62頁の表は、施設配置を検討する際の施設確保の可能性についての比較表であり、ここで整理したものを次頁以降で配置案とし</p>

柳澤委員	<p>て示している。</p> <p>デッキ整備は時期尚早ではないか。近隣駅では、上尾駅で大規模ビルがあるためデッキが整備されているほか、桶川駅では県営住宅やショッピングモールに繋がるデッキが整備されている。本計画による小規模な複合施設のためにデッキが必要なのか。なお、雨がしのげるシェルターのイメージは非常に良い。</p>
事務局（金子主査）	<p>ワークショップの中で、県道までの安全性確保のために必要との意見が多くあった。確かに同規模利用の駅でデッキが整備されている例は少ないが、68頁の図面はあくまで将来的なイメージ図であり、59頁において将来的な駅利用者数や利用形態を勘案して整備を行うと整理している。なお、72頁のスケジュールにおいて長期的に整備を検討していく方針で整理している。</p>
柳澤委員	<p>交番については独立した交番が多く、複合施設内に入っている事例は県内では少ないのではないか。しっかりと交渉する必要がある。</p> <p>また、県道行田停車場線の歩道一部未整備区間の整備についてが長期スケジュールとなっているが、是非短期的に実施していただきたい。そして県道の緑化については、植栽する種類によっては管理が非常に難しくなるため、地元での管理を考慮した整備として欲しい。</p> <p>そして、74頁の「5年でみえるまちづくり」をしっかりと実践していただきたい。休憩スペースの拡張などは観光利用者にとっては大変便利になるが、採算性も考慮し整備する必要がある。</p> <p>最後に、パブリックコメントの中においても壺里山自治会のへの説明の要望がある、是非早めに説明いただきたい。</p>
事務局（金子主査）	<p>交番については、すでに行田警察署と打ち合わせを行ったが、その際複合施設内での配置には若干のきらいがあると聞いている。ただし、同じ県内においても交番が施設内に入っている事例もあり、他市への情報収集を行う予定としている。</p>

<p>柳澤委員</p>	<p>県道行田停車場線の歩道一部未整備区間の用地買収が困難である現状については市も十分認識しており、現在も継続し行田県土整備事務所と調整を図っており、引き続き推進していく。また、緑化については、現状で花の管理が困難であると聞いている。地元住民のみならず周辺企業やロードサポート等を活用し、管理できる体制が構築できればと考えている。</p> <p>「5年でみえるまちづくり」についてはすでに実施に向けて事前調整等動き出しているところであり、なるべく前倒しができるような形で実施していきたい。</p> <p>また、自治会館については、会館のあり方についての意見が自治会内で分かれていると聞いている。引き続き地元の方と十分に調整を図って今後のあり方を検討していきたい。</p> <p>自治会館については、複合施設での代替なども含め検討していただきたい。また、複合施設内における行政サービスの中で子育て支援施設とあるが、駅前にできると非常に便利であるので需要に応えられるような規模で整備して欲しい。</p>
<p>酒井(敦)委員</p>	<p>県道行田停車場線の歩道一部未整備区間については、用地交渉が非常に困難しており、折衝の間に入り、円滑に進むような方がいたら紹介していただきたい。現在、グリーンベルトや自転車道を検討しているが、用地交渉が問題となり、進んでいない。</p> <p>緑化について、道路内の植樹は管理が行き届かないなどの課題が多く、減らす傾向が強い。そうはいつても、駅前のおもてなし通りとしては整備が必要であり、ロードサポート制度の周知など、地元企業とも協働ができる体制を構築していきたい。</p> <p>また、今後のにぎわい創出や住宅の誘導の方法が課題となると思われる。特ににぎわい創出は住宅誘導より難しい。地元の熱意が一番大事なことである。90年代以降、まちづくり協議会を設置してにぎわいを創出しようとする動きが多くあったが、行政が主導となった場合は上手くいかない事例が多い。にぎわい創出の方策</p>

事務局（加藤主幹）	<p>として、川越のような昔の江戸時代のまち並みを再現するなども考えられるが、用途が商業地域であり何でも建築できてしまう。現在の社会経済情勢では土地の高度利用も難しいため、快適居住ゾーンとして住宅地を広げる方が良いのではないか。地区計画ではなく用途の見直しも検討してはどうか。</p> <p>県道沿いは商業系用途であるが、確かに商業施設の立地は少ない。今後は地権者などを対象とした説明会などを開催し、活用方策を一緒に検討していきたい。</p>
事務局（金子主査）	<p>土地利用の誘導方策としては、用途地区、地区計画、高度地区など方法は複数あるが、いずれにしても地元と合意形成が必要であり、地区計画、建築協定の方策で考えていきたい。</p> <p>沿道の商業施設としても大規模なものは想定していない。</p> <p>なお、現在中心市街地についても定住者の確保やにぎわいの創出に向けてまちづくりを進めているところである。まちづくり協議会を念頭に入れたワークショップなどを継続して実施しているところであるが、民主導に近い形で進めていきたいと考えている。</p>
酒井(敦)委員 事務局（加藤主幹） 富岡委員	<p>観光客数は伸びているのか。</p> <p>古代蓮の里のシーズンには臨時バスが満車になるほどであり、増加傾向にある。</p>
酒井(敦)委員	<p>観光客向けの飲食店街（〇〇横丁など）そういったものがあるといい。</p>
清水委員	<p>中心市街地の国道 125 号沿いの電線地中化エリアには童の銅人形があるが、行田らしさ、趣がある。まち歩きで注目している方がいた。駅前通りは既に電線地中化されていることもあり、同様な手法もより行田らしさが出るのではないか。駅前広場のモニュメントは行政主体か、民主体で設置するのか。</p>
事務局（加藤主幹）	<p>具体的には今後検討を進める予定である。パブリックコメントでも意見があったが、地域住民をはじめとした関係者の意見を取り入れたり、コンサルタントの選定に配慮を行うなどして対応し</p>

柳澤委員	<p>たい。</p> <p>イメージ図中央に配置されているものはからくり時計かと思われるが、これは管理が非常に大変であるため、維持管理に十分考慮した上で設置する必要がある。</p>
酒井(建)委員	<p>せっかくのデッキが無機質である。実施の際には、行田らしさを感じさせ、かつ、維持管理の面も含めて質が高いものを整備して欲しい。なお、景観実績のあるコンサルタントよりは、地元に通じたデザイナーなどを入れた方が良い。</p>
伊東委員	<p>にぎわい創出については、緑化など岩崎電気へCSRなどを提案できると良い。人材育成・地域貢献のアピールにもつながるのではないかと。住民と企業がWINWINの関係になるとよい。</p>
富岡委員	<p>この事業を行うことで市民の税金が上がることはあるのか。賑わい創出としては資金面以上に必要な事業であるとは認識している。また、深谷市では市内外の人が利用できる行政サービスを行っている。市民や隣接市からの利用も考慮した方が良い。</p> <p>話は変わるが、ふるさと納税も市外へのアピールに繋がるのではないかと。</p>
柳澤委員	<p>公園の移設にあたっては、健康遊具に加え、子どもも利用できる遊具、かつ管理しやすい遊具を整備していただきたい。</p>
事務局(金子主査)	<p>財源としては、この事業を行うことで直ちに税金が上がるということは想定されない。駅前広場は都市計画事業として実施する。また、事業実施に向けて、各種補助制度の活用を検討しており、申請に向けた協議を県と始めており、合併特例債も活用する予定である。ふるさと納税は審議中であるが、担当部署で検討しているところである。</p> <p>公園整備においては、周囲との修景と調和させ、子どもだけでなく、今後の高齢化も考慮した健康遊具の設置や、歩行者の安全対策に向けた遊歩道整備などを検討する予定である。</p>
酒井(敦)委員	<p>遊具などの設置について、住民や地元企業などから寄付を受け</p>

<p>酒井(建)委員</p> <p>田尻委員長</p>	<p>るなど、地元との協働で上手な関係が築ければいいと思う。</p> <p>19 頁の実態調査の調査日については、他ページについては入っているの、曜日を入れておいた方がよい。</p> <p>本日いただいた意見に係る修正については、事務局と委員長の一任として良いか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>委員長感想</p> <p>事務局お礼 (石川課長)</p> <p>閉会の宣言 (金子主査)</p>
-----------------------------	---